

たてこし

館腰地域まちづくり通信

vol.
21
2017.12.15 発行

生きがいとふれあいに満ちた心豊かな暮らしのあるまち 館腰



◎今号の表紙

本場韓国のキムチとあったかキムチ鍋、もちもちのチヂミを作りました。料理を囲んで会話も弾み心も体もほっかほっかになりました。
(関連記事は3ページへ掲載)



すまいるリレー!!

地域で頑張っている人を紹介します。

13 熊倉ミハイさん(下新保)

現在村上高校在学1年生、生徒会の役員として活動しています。次期生徒会長に立候補する予定で、自分や周りの生徒の考えや意見を汲み上げて、生徒会の活動に活かしたいと考えているそうです。

部活では幼い時から関心があった大好きだった漫画に取り組んでいて、将来は漫画家が夢だとか。ストーリーを考えるのが好きで得意。一旦頭に浮かぶと、時間のたつのも忘れて次々と浮かんでくるのだと楽しそうに話してくれました。

昨年には平成28年度「私の主張 村上、岩船地区大会」に出場、奨励賞を見事受賞しました。本人はこの結果に少々不満そうですが、すべての経験を受け入れて、前に進む糧にしているミハイ君の信念が感じられる素晴らしい内容です。(県のHPで読むことができます。こちらをご覧ください。)

中学まではバスケットボールを頑張っていた、その時の顧問の先生に考え方や生き方などとても影響を受けたそうです。ミハイ君が持つリーダーシップや責任感、前向きな気持ちは、そうしたことも大きいようです。先生になるのを今後の進路の選択肢の一つに考えているのもこのかけがえのない出会いがあったからなのでしょう。



とにかく明確な意思をもって、一つ一つの行動をしているミハイ君です。筆者は思わず「まち協で今すぐ活躍しませんか」と言いそうになりました。モチロンそんな暇ありませんね。

あぢみじり 半殺し焼きとたてこし軽トラ市

10月22日(日)に開催されたあぢみまつりにおいて、当協議会では昨年に引き続き館腰の郷土料理として「半殺し焼き」を出品しました。

炊いたご飯の粒を半分ほど残る程度にすり潰すことを「半殺し」といい、これを握って表面を焼くことから「半殺し焼き」といいます。

昨年は開始2時間程度で、うるち米4升分を完売したことから、今回は6升分、約200食を用意し、タレはクルミ味噌とゴマ醤油の2種類を用意しました。

当日の天候はいくくの雨。客足も悪く出だしの売れ行きは今イチでしたが、お昼前から大勢のお客さんで賑わい、「どちらも食べたい」「家族にも食べさせたい」と沢山買う方も多く見事に完売することができました。



また、多目的ドーム内外ではたてこし軽トラ市として5店舗の方から出店いただきました。卵焼き、焼き鳥、笹だんご、おこわ、野菜、木工品などが販売され、いずれのブースも沢山のお客さんでにぎわいました。



たてこし 館腰地域まちづくり通信 21号

[2017年12月15日発行]

発行：館腰地域まちづくり協議会

事務局：〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地
(村上市朝日支所 地域振興課内) Tel.0254-72-6881

mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

Facebook や HP でも活動の様子を公開しています

Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>

HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>

編集後記

あっという間に年の瀬ですね。「もういくつ寝るとお正月〜♪」と子供の頃は待ち遠しく感じたはずなのに、最近ではむしろ正月にはゆっくりと来てほしいのが本音です。中国や台湾では旧正月のほうが重視されますが、日本でも沖縄県や鹿児島県の一部では旧正月を祝う地方があるそうです。みなさまどうぞ風邪にはお気をつけてよい正月をお迎えください。<総務広報部会 中山 靖夫>





たてこし
土曜であった、あんだごど
こんだごど
ここでは館腰地域の活動や行事などの様子をご紹介します。



料理講習会

本格的なキムチづくりを伝授！

11月19日(日)に今年度交流活動部会の最後のイベントとなる料理講習会を行いました。一般の参加者とまちづくり協議会の役員を含め34名で本格的なキムチを作り、キムチ鍋、チヂミも作りました。講師の近藤幸心さんからは丁寧にキムチ作りを教えていただき、大変ありがとうございました。

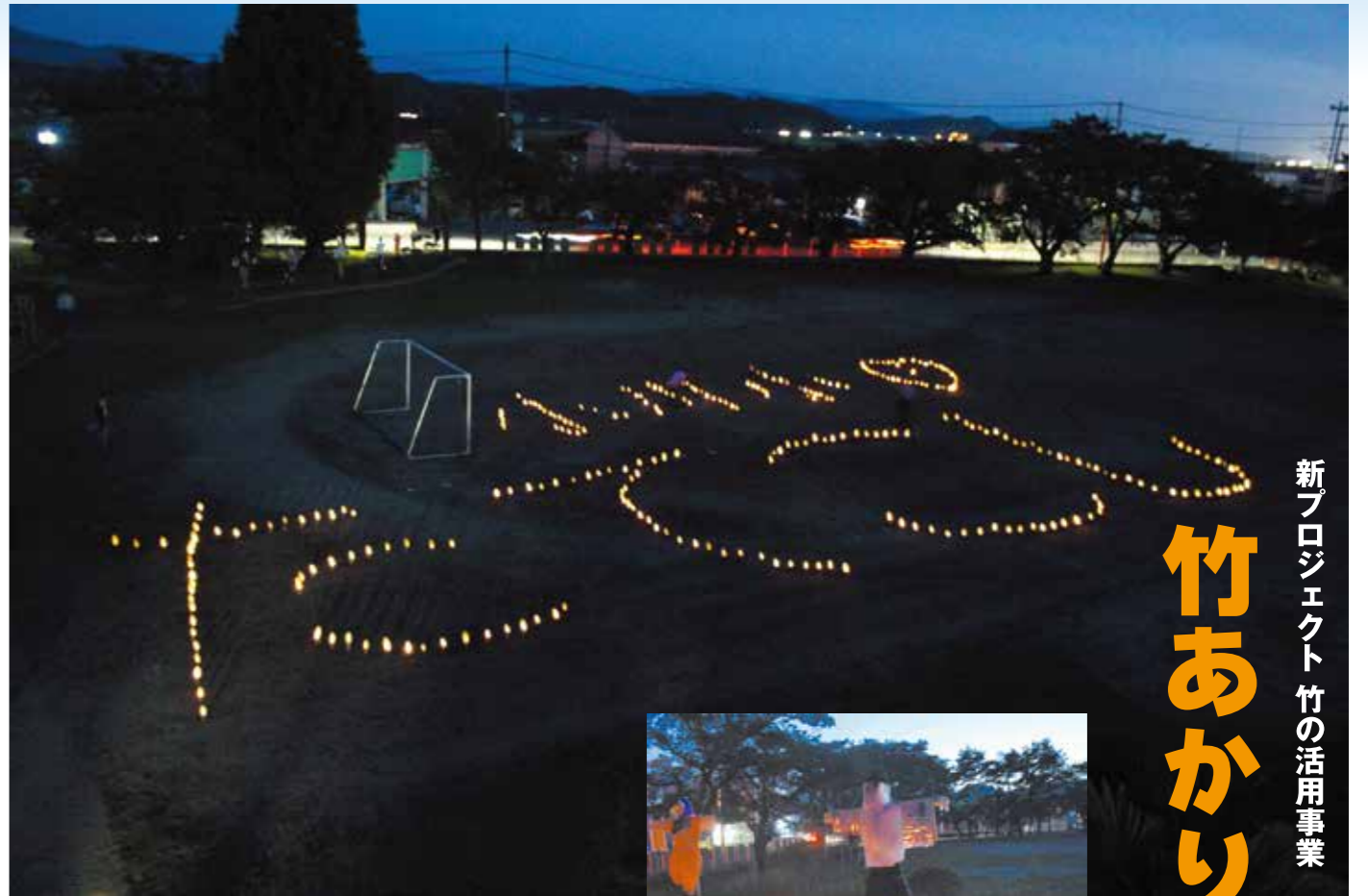
参加者は7班に分かれ同じ材料で作りましたが、キムチ鍋は各班で味も微妙に違い、味の深さを感じました。また、会食では交流も深めることができ、とても良い雰囲気でした。当日作ったキムチは2、3日たつてからが食べごろになるので、家でおいしくいただけるのを楽しみにしたいと思います。また、来年度もより多くの参加者に来ていただけるような交流イベントを実施したいと思っておりますので、今後ともまちづくり協議会へのご理解とご協力をお願いいたします。(交流活動部会会長 高橋文明)



新プロジェクト 竹の活用事業

竹あかり たてこしのタペ

9月9日(土)開催



長津地区に多く自生する竹は、かつては稲を乾燥する為の稲架木(はさ木)に利用されてきました。現在は乾燥機に変わって使用されなくなり、竹林は竹やぶとなり荒廃が進んでいます。現在、国、県の補助を受けて竹林の整備を進めており、今後はその活用を行う必要があります。そこで、歴史文化部会では、竹灯籠を作って地域の皆様に竹に対する興味を持っていただきたいと思います。竹灯籠の作成には、竹の伐採と斜めに切断加工する必要があり、部会のメンバーを中心としたまちづくり協議会の役員で四百本ほどを作成しました。

「竹あかりたてこしのタペ」の当日には、小学生と保護者の皆様に交通安全を願うかかしの周りへの竹灯籠の配置とロウソクへの点火をご協力いただきありがとうございました。竹灯籠で作成する文字は、「たてこし小川小」だけの予定でしたが、ハートマークも追加で作成し、愛らしく表現することができました。

竹灯籠に点火した時はまだ明るく、目立たなかった灯りも暗くなるにつれて文字もはっきりと浮かび上がり、とても幻想的になりました。時間が経つにつれ、大勢の方に見に来ていただき「きれいですよ、大変だったでしょう」とねぎらいの言葉をいただき、やって良かったと実感しました。校舎の三階から見た竹灯籠も大変きれいでしたが、横から見た竹灯籠の灯りとかかしを立てた通路もとても幻想的でした。反省点としては、開始時間や竹灯籠の数、地域の皆様へのご協力依頼の仕方について検討見直しを行い、この事業を継続していきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。(歴史文化部会副会長 齋藤純市)



あさひフォトコンテスト

特別賞に館腰地域から3作品が入賞！

朝日地区まちづくり協議会連絡会議主催の朝日フォトコンテストの審査結果の発表と表彰式が、10月22日(日)、あさひまつりの会場で行われました。応募総数38点の中からグランプリ1点、準グランプリ2点、インスタグラムいいね大賞1点、インスタグラムいいね賞1点、特別賞8点が発表され、館腰地域から、小池莉子さん、紫さん、凛人さんのご一家がそれぞれ特別賞を受賞されました。おめでとうございます。今後も朝日地区の魅力発信に繋げていきたいと思っておりますので、来年に向けてこれから作品を撮って応募くださるようお願いいたします。

- あさひフォトコンテスト作品展示
- 期間 2月1日～28日
- 場所 朝日きれい館



朝日地区保育園長賞
小池 莉子さんの作品



都岐沙羅パートナーズセンター賞
小池 紫さんの作品



朝日地区地域おこし協力隊員賞
小池 凛人さんの作品

- グランプリ：「天の川を渡るホタル」秋山 貴信 (中新保)
- 準グランプリ：「夏の夕暮れ」遠山 勝行 (岩沢)
- 準グランプリ：「春を追い駆ける」山本 和子 (二之町)
- いいね！大賞：「岩崩のうたげ」鷲尾 憲人 (新潟市中央区)
- いいね！賞：「縄文の春」鷲尾 光幸 (岩崩)
- 朝日支所長賞：「伝統の薪能」根芝 一夫 (茨城県古河市)
- 朝日地区区長会長賞：「盛夏」横井 良人 (片町)
- 村上市観光協会朝日支部長賞：「紅の繭玉」三澤 清明 (山形県酒田市)
- JAにいがた岩船朝日支店長賞：「五月」田村 昭一 (千縄)
- 朝日地区小中学校長会長賞：「高原の夏まつり」星野 恒夫 (寒川)
- 朝日地区保育園長賞：「瑞雲橋と夕陽」小池 莉子 (笹平)
- 都岐沙羅パートナーズセンター賞：「冬の晴れ間の凍み渡り」小池 紫 (笹平)
- 朝日地区地域おこし協力隊員賞：「おいしそうだなー」小池 凛人 (笹平)